

復活&前進！ 新たな時代の地域学校協働活動

今年度も、小・中・特別支援学校で地域学校協働活動がスタートしました。

新型コロナウイルス感染症は5月8日から、「感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律」上の5類感染症に移行しましたが、3年に及んだコロナ禍においても、各学校でも様々な工夫をこらしながら協働活動を続けてきてくださいました。

これからもアイディアを出し合いながら、さらに活発な協働活動を実践していくことで、子どもたちに「生きる力」や「ふるさとを大切に思う心」を育てていくことができると思います。

また、大人たちが協力しながら自分たちを大事にしてくれる姿に触れることで、子どもたちの「自己肯定感」が高まるとともに、「孤立せず人とつながる力」の大切さを学んでいってくれるのではないかと思います。

今後も、地域・保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。



《代陽小・サツマイモ植え》



《宮地小・田植え》



《松高小・町探検》



《文政小・書道サポート》



《麦島小・麦島音頭の指導》



《有佐小・花植え》



《泉小・放課後子ども教室》



《四中・地域未来塾》

参加者された婦人会の方が地域コーディネーターさんに伝えられたコメントです。

「あのあと6年生の家庭科の支援で学校に行った時に、（音頭を教えた）3年生の子供さんとばったり会ったんですよ。そしたら『あっ、麦島音頭のおばちゃんだ。こんにちは。』と言ってくれたんです。家庭科の支援も麦島音頭もホント行ってよかったあ。声かけてくれてありがとう。」

地域学校協働活動は、「子供たちへの効果」とともに、「地域の皆さんが元気に！」になっていただくことも目標としています。このような思いは「持続可能な活動」の実現への心理的な支えとなるもので、たいへん有難く思います。

令和5年度第1回八代市地域学校協働本部会議を開催しました。

5月31日（水）午前10時から、八代市公民館において八代市地域学校協働本部の第1回会議を開催しました。

会議には、本部長（教育部長）をはじめとする八代市教育委員会関係者、地域コーディネーター・統括コーディネーター・八代校長会代表・退職校長会代表が参加しました。

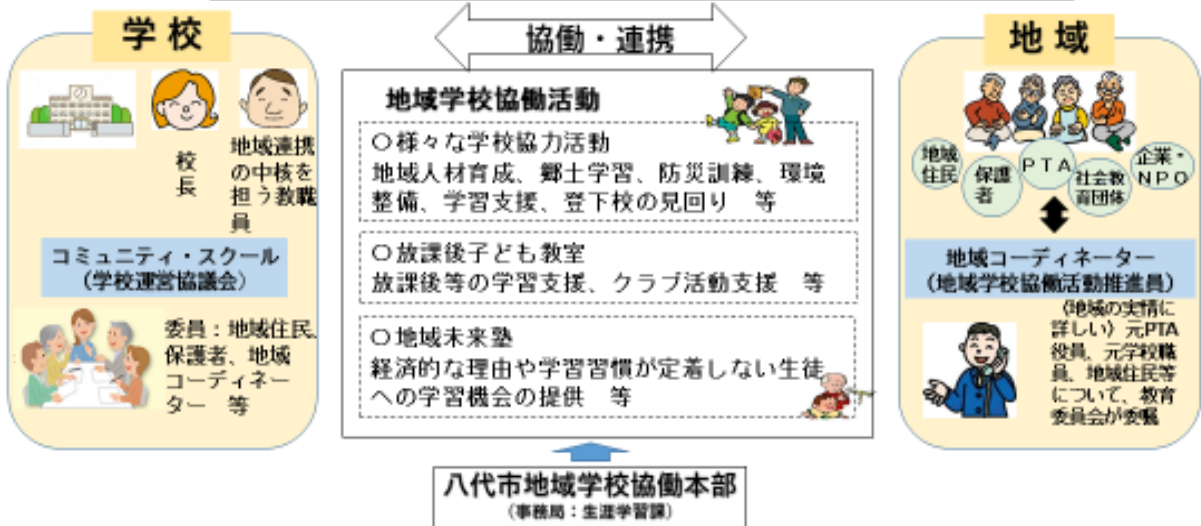
地域コーディネーターへの委嘱状交付後に議事に入り、八代市地域学校協働（推進体制や地域コーディネーターの役割・活動の流れ等）や本年度の事業計画（活動内容や強化事業等）についての説明を行いました。

その後、地域コーディネーターの連絡調整会議を実施しました。

新任の地域コーディネーター5名の方をはじめ、地域コーディネーターのみなさん、1年間お世話になります。



「地域と学校の連携・協働」の体制イメージ



【構成メンバー】

本部長：教育部長
副本部長：教育部次長
本部長：地域コーディネーター
統括コーディネーター
八代校長会代表
八代退職校長会代表(R5より)
八代市教育委員会関係課長

《役割》

- ・地域コーディネーターの連絡・相談窓口
- ・広報・啓発活動
- ・研修会の開催
- ・地域コーディネーター間の情報共有 など

統括コーディネーター

《役割》
地域コーディネーターや学校への助言など

昨年度の協働活動の例

1 様々な学校協力活動

授業の支援や見守り 放課後の学習支援 読み聞かせ
体験活動 作物や花の栽培 昔遊び
郷土の伝統・文化芸能学習 職場体験学習
交通安全教室 防災教室 卒業証書・記念品づくり
不登校・別室登校児童生徒への支援 など

2 放課後子ども教室

ものづくり 読み聞かせ 文化活動の体験 運動遊び ゲーム

3 地域未来塾

予習 復習 補充学習 自主学習の支援

コロナ禍の間もありがとうございました

授業のめあてや

何をどこまで支援するとよいか

打ち合わせしよかね！



つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和5年10月2日発行 ☎0965-30-1110

地域の「ひと・もの・こと」を生かした 実践とつながり！

子供たちと地域の方々が時間と空間を共有し、つながることのできる日々。

関わり合うことを遠慮しなければならない期間が長かった分、このような日々が有難く感じられます。今号は1学期後半から9月の活動報告を特集してみました。

① 教科の授業で



郡築小（家庭科） 6月
「5年生の基礎縫いとボタン付けの支援に行きました。玉結びから本縫い、仮縫い、かがり縫い、ボタン付け・・・と上手にできました。」



二見小（生活科） 6月
「2年生の町探検がありました。田んぼのオタマジャクシや魚の群れに歓声が上がり、にぎやかな探検となりました。」



代陽小（国語・算数） 9月
外国にルーツをもつ児童の学習支援

週に3時間、4人のサポーターが交代で支援されています。ひらがなや短文の練習だけでなく、算数の支援も行われていました。

※コメントに「」が付けてあるのは、地域コーディネーターさんや関係者の方のコメントを、そのまま掲載したものです。



② 特別活動・総合的な学習の時間に



東陽小学校 6月 災害体験談
「約50年前に東陽で大洪水があったそうです。元消防士の方から、その時のことをお話していただきました。」



文政小 8月
安全マップづくり

「小学校6年生の安全マップ作りについて、子供たちが気づいた危険箇所を地図に記入したり、付箋を貼ったりする作業の事前話合いや、注意事項の確認を行いました。」

「6年生が各地区の危険箇所や空き家等の現地調査を行いました。区長さん、民生委員さん、交通指導員さんたちに助言や協力していただきました。」

③夏休み



有佐小 8月
「6年生と地域のボランティア団体と防犯パトロール隊の皆さんと一緒に、有佐駅周辺の美化作業を実施しました。年に2回予定しています。」



八中 8月 愛校作業
「生徒、保護者、地域住民、総出で心地よい汗をかきました。」



植柳コミセン 7月～8月
「うやなぎ子どもの家」での学習サポートの様子です。「喜んで参加してくれています。学校とは異なる一面を見せてくれますし、異学年での交流もできます。サポーターの方々も楽しみにしております。」

④地域の伝統・地域に貢献



練習風景



宮地小 6月
宮地和紙の葉作り
「八代港に入港するクルーズ船の観光客が妙見宮に来られるので、お土産用に作成したものです。」

東陽中 8月 銭太鼓バチづくり
「県立劇場で伝統芸能の銭太鼓を披露することになり、バチを新調しました。丸2日かけて45本を作り上げました。子どもたちの晴れ舞台のお手伝いできてよかったです。」

⑤地域未来塾(四中)



前期の期末試験中もがんばっていました。



夏季期間中の学校訪問、お世話になりました！



この夏は、地域コーディネーターが交代された学校や新規で加わられた学校（代陽小・麦島小・文政小・一中・四中）を訪問させていただき、意見交換を行いました。

新規コーディネーター、現コーディネーター、校長先生または教頭先生、担当の先生とともに、今回はじめて退職校長会の地区担当の方も参加されました。

意見交換では、校区の状況をもとに、それぞれの立場からの感想や気付き、アイデアなどを交換しました。どの校区でも、新規コーディネーターの方々が活動の内容を掌握しつつ、校区の子供たちへの愛情と期待、責任感をもって取り組んでおられる姿があり、スムーズなバトンパスができていたようでした。

ある校長先生が「ドラえもんのように『こんなこといいな、できたらいいな♪♪』というイメージで、その時その時の発想を大事にしていきたい。そして、無理せず、『できるしこ』という考え方で続けていきたい。」と言われました。

コロナ禍が（一応）落ち着き、多くの学校で、活動が再開されています。「何もかも再開」ということではなく、「学校のニーズ」や「地域の資源『ひと・もの・こと』」をつなげながら、充実した活動を模索していただければ、子どもたちのよりよい成長につながると思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

【編集後記】 子供たちの息遣いを直に感じたり、地域コーディネーターさん、サポーターさん、先生方の思いに接したりしたいなと思っています。可能であれば授業や事業の様子を参観させてください。連絡をお待ちしています。(30-1110) (事務局より)

**八代市地域学校協働活動連絡調整会議(第3回)を開催しました。
10月23日(月) 八代市立文政小学校**

今回の連絡調整会議は「文政小学校の実践に学ぶ」という趣旨で、文政小に出かけ、協働活動（芋掘り・わくわくキャリアセミナー）を参観しました。

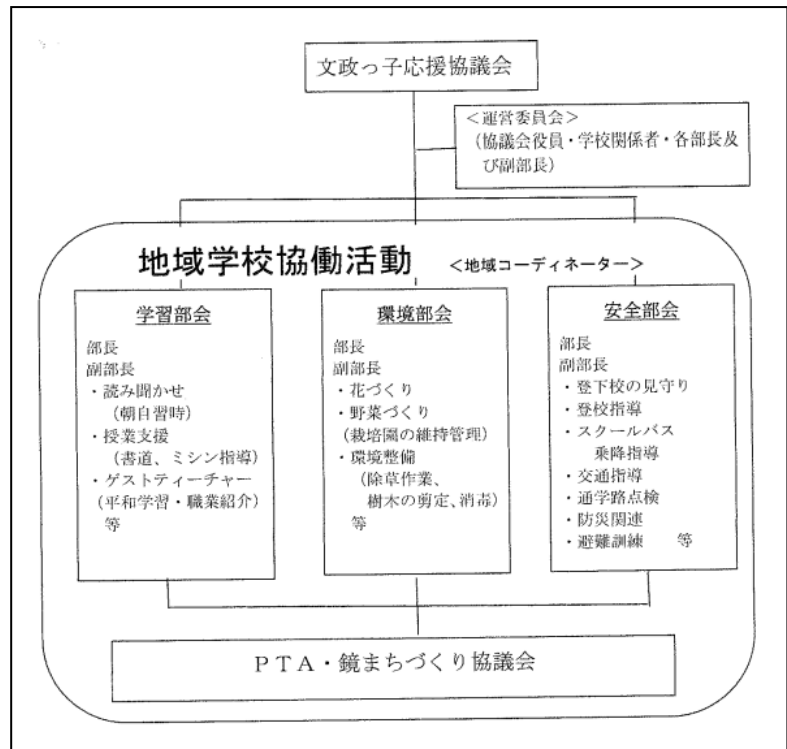
参観後、図書室に移動し、文政小での取組について、野田地域コーディネーターから説明をいただきました。活動に際しての段取り、当日の準備、地域の方々への活動の広げ方についても学ぶことができました。

その後、参加された14名の地域コーディネーターの皆さんと意見交換を行いました。

文政小では、6年前、当時の校長先生の思いを受けて、「文政っ子応援協議会」を設立し、併せて、3つの部会をつくられました。（右図参照）

学校・地域・家庭・子供・行政の五者の連携について、このような形で活動内容を分類して可視化し、「部会」という形で組織づくりをしておくことは、実動するうえで、とても有効なことだと感じました。

今も子供たちや郷土への愛情を基盤に、精力的に活動されています。



(※図中の「文政っ子応援協議会」とは、学校運営協議会のことです。)

【協議会のようす】



【芋掘り】当日は1年生が大喜びで掘っていました。（栽培は全学年）

（後日、美味しい芋だんごができました。）

【わくわくキャリアセミナー：6年生対象】



消防署のブース



地元の建設会社のブース

8つのブース(職業別)に分かれて説明があり、児童からは、たくさんの質問が出されていました。コーディネーターさんや参加して下さった企業や団体の方の子供たちに対する期待を感じる時間となりました。



活動紹介 《地域未来塾》

「地域未来塾」は、補足的または応用的な学習を希望する中学生に対して、放課後や夏季休業中などの教育課程外の時間を利用して行われている学習教室です。

今年度は、放課後（週に1回）を利用して四中、六中、二見中で実施されています。また、夏季休業を利用して、八中、日奈久中、千丁中で実施されました。

【二見中】



【六中】



【千丁中】



【日奈久中】

「地域と学校の連携・協働」推進実践交流会

11月27日(月)【主催：熊本県教育委員会 実施主体：八代教育事務所】

『地域とともにある学校づくり』『学校を核とした地域づくり』の実現を趣旨として、標記の交流会が八代総合庁舎で開催されました。

各校の地域コーディネーターや管理職および担当の先生方、行政関係者、退職校長会等から計70名以上の参加があり、研修1では泉小中学校と代陽小学校が実践発表をされました。

泉小中学校では「泉学舎（まなびや）協議会」（学校運営協議会）が中心となって、施設一体型小中一貫教育校の強みを生かし、地域の伝統を大切にしながら、まちぐるみで児童生徒の成長をサポートしておられます。高校や保育所とも連携するなど、まさに「地域とともにある学校」。少子高齢化の進む中、「持続可能な会」を目指して取り組まれています。

代陽小学校では、学校の教育目標の中に「つながる」という言葉が掲げてあり、地域コーディネーターさんをはじめ、子どもたちに関わる皆さんが目標を共有し、つながり合う活動を実践されています。市の中心部という地域性も生かしつつ、PTAをはじめ、住民自治会、婦人会、老人会、退職校長会、警察・安全協会、高校とも連携し、子供たちの成長をサポートしておられる様子が伝わってきました。



【泉小中】 泉学舎協議会で児童生徒会の今年度のテーマ]を説明する中学生（五者連携）



【いずみ交流文化祭】
（中学生による久連子古代踊り）



【代陽小】
ピアサポートサロン
（子供たちの居場所
づくり）に高校生も
協力）



【代陽小】
平和講話（退職校長会）
（写真は空襲時の身の
守り方の実演）

つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和6年3月5日発行 ☎0965-30-1110

前進 & 充実！ 地域学校協働活動

「協働」という言葉を改めて確認してみると「同じ目的のために対等の立場で、協力して共に働くこと。それぞれの得意分野を活かしながら、力を合わせて物事を行うこと。」とあります。

今年度も各校区で「協働」の名にふさわしい、充実した活動が行われていました。地域の方々の温かい支援を受けながら、子供たちには、人々への信頼、地域への愛着、自己肯定感が培われたことと思います。

次年度のスムーズな活動につながりますよう、今年度の活動の状況を整理し、今後の活動に向けての構想を共有したり、できる範囲の準備をしたりしておいていただければありがたいです。

一つの活動でみんなが充実 ～三者の視点で捉えてみると～

地域学校協働活動は、子供たちへの教育的効果に資するとともに、学校の先生方を応援し、地域の方々にもやりがいを感じていただくことを目指しています。

【地域コーディネーター・サポーターさんの視点】

1年生の「昔遊び」に婦人会のメンバーで参加しました。あやとり おはじき 凧 羽子板 竹馬 紙ひこうきで、班ごとに楽しく遊ぶことができました。

いつも子供たちに元気をもらっています。後日、学習発表会を見に行ったときに、私たちに気付いて手を振ってくれました。嬉しかったです。

【担任の先生の視点】

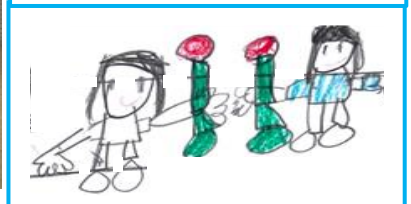
コーディネーターさんに「子供たちに昔の遊びを体験させたいんですけど」と相談したら、すぐに段取をしてくださいました。

気軽に相談することができて本当に有難いです。

【子供たちの視点】（感想文や絵）

◎竹うまを（はじめ）まっすぐしていたけど、サポーターの人たちが、「少し、ななめにするとやりやすいよ。」とおしえてくれたので、ななめにしたらじょうずにできました。
◎たこあげをおしえてくれたからじょうずにできてうれしかったです。いっぱいあそんだからたのしかったです。

《 郡築小・昔遊び 1月 》



協働活動の様子(秋～冬)



《泉八小・こんにゃくづくり12月》
全校児童3名とサポーター3名で、学校に実っていた柚子を使って、柚子こんにゃくと甘露煮とゼリーをつくりました。子供たちはこんにゃくが固まる様子を初めて見て、感動していました。こんにゃくを丸めるのも、上手にできていました。



《千丁小1年生・昔遊び 1月》
今回は、材料の調達が容易な一紙パックとんぼづくりを行いました。サポーターしてくださった老人会の皆さんは「子供と一緒に過ごさせて楽しかった」とのことでした。



《八中・鍛錬遠足 11月》
 耐寒・鍛錬遠足が3年ぶりに開催されました。
 八中から東町を經由し、東陽町を通り、宮原、龍峯を通過する全行程約26kmを歩く遠足です。地点地点に手分けしてサポートしました。

地域住民の応援もあり、若い人の頑張りに関心しました。



寒い中、生徒会の生徒たちと、門松づくりをしました。



《二中・門松づくり12月》

教職員の意見交換会 1月26日(金) 八代市公民館

学校の先生方に「地域学校協働活動」についての理解を更に深めていただくことを目的として、標記の会を実施しました。

当日は、各学校担当者や管理職等、計36名の先生方の出席を得て、グループごとに自校の取組を紹介し合ったり、実施上の成果や課題について意見交換を行ったりしていただきました。



本部からは、普段から地域コーディネーターにお伝えしている「無理なく、楽しみながらの活動を」「学校側のニーズに沿った活動を」という2点を学校の先生方にも共有していただきました。

加えて、地域コーディネーターに依頼する際は、「何のために活動をするのか」という目的を共有してほしいこともお願いしました。

学校運営協議会（コミュニティスクール）で提示される学校経営のグランドデザインを念頭に置くことで、一層充実した活動になると思います。



令和5年度 八代市地域学校協働本部 第2回会議 及び 連絡調整会議

2月8日（木）午前10時から、千丁コミュニティセンターにて標記会議を開催しました。

年間の総括的な事業報告等を行った後、地域コーディネーターとの連絡調整会議ではグループ別の情報交換会を行いました。



グループ別の話し合いでは、学校現場に詳しい退職校長に入っていたことにより、学校の抱えている課題や実情が話題になり、特に不登校児童生徒の居場所づくりや別室登校生の見守りの必要性などを共有することができました。すでに八代市でも地域のサポーターや教職経験者が見守りや話し相手、学習指導にあたっている学校もあります。

これからも「安心できる居場所づくり」をはじめ、地域の一員として多様な課題解決のため協力していくことを共通理解することができました。

地域コーディネーターの皆様には、校区の子供たちのために深い愛情と使命感をもって活動していただき、本当にお世話になりました。



《編集後記》 この「つなぐ」は保護者の皆様には安心・安全メールで配信し、市民の皆様には市のHPで公開しています。ご覧になった方で、「自分の『得意』が子供たちに役立つかも」あるいは「得意なものがあるかどうかはわからんけど、加勢してよかよ。」と思ってくださった方は、ぜひ地域での協働活動にご協力ください。連絡をお待ちしています。（生涯学習課 30-1110）（事務局より）

